

ひがし



きらり十
ひがしく

立派に育ったタマネギたち



～タマネギ畑を訪ねて～

東区を代表する農産物、タマネギが旬を迎えています。

東区は日本のタマネギ栽培の発祥の地と言われ、その歴史は明治時代初期までさかのぼります。

今回は、丘珠地区で明治時代から続くさいとうき 斉藤重博ひろさんの畑を訪れ、収穫の様を見せていただきました。

斉藤さんの畑では、広く普及している品種のほか、東区発祥の「札幌黄さっぽろき（※）」も多く作っています。

「今年も良いものができました。札幌黄はそれぞれの農家が独自に改良を重ねてきたんですよ。今も自分たちで花を育て、種を採り、栽培。うちのは「さいとうき 斉藤黄」ですね」と斉藤さん。タマネギ作りへの情熱を感じました。

今が旬の「新タマネギ」をみなさんどうぞ。



今年もおいしいタマネギが収穫できました。



真っ白なタマネギの花「ねぎぼうず」

【編集】 東区役所総務企画課広聴係

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目 ☎741-2400 742-4762

●東区民ホームページ「ようこそひがしく」 <http://www.city.sapporo.jp/higashi/>

●東区広報番組「東区情報ひろば～タッピー通信」さっぽろ村ラジオ（FM81.3MHz）毎週水曜日午前10時40分～10時50分

※札幌黄～明治時代、アメリカの品種を基に、タマネギ農家の各家が、長い間、研究と改良を重ねて作り上げた品種。軟らかく、加熱で甘さが際立つ。収量性や耐病性に難があり、近年生産量が激減。「幻のタマネギ」とも言われる。

